

児童朝会 校長の話 5月1日

今日は、浅草小学校の卒業生のお話をします。昨年度の卒業生を含めて、浅草小学校を卒業した人の人数は、14,812人です。どうして人数がわかるかというと、卒業生台帳というのがあって、浅草小学校を卒業した人全員の名前と番号が記されています。昨年度卒業した6年生の最後の人が14,812番でした。ということは1番の人がいるのかな?と調べて古い卒業生台帳を調べてみました。すると、明治6年に学校ができましたが、名前が記されているのは明治13年からでした。(台帳を子供たちに見せました)明治13年の卒業生は男子4人、女子1人で合計5人です。毎年、卒業した人の合計人数が書いてあります。そして、一人一人に番号がついたのは明治38年からで、2,289番から始まっています。それまでに卒業した人が2,289人いたのでしょうか。(台帳をこどもたちに見せました)そして、現在まで卒業台帳が書き続けられています。卒業生の14,812人の方々は、それぞれいろいろな分野で活躍されています。今年度は150周年の記念に、活躍している卒業生の中から4人の方を浅草小学校にお呼びしてお話を伺ったりパフォーマンスを見せていただいたりしようと計画しています。

その一人目、本日、鈴木猛利さんという書道家の方がいらっしゃいます。書道の作品の展覧会を行ったり、大きな文字を書く書道パフォーマンスをしたりして活躍しています。海外ではフランス、アメリカ、インドネシア、ジャカルタ、フィリピン、中国…など多くの国で作品展を行っています。そして、各地で書道パフォーマンスをなさっています。毎年正月にはスカイツリーがあるソラマチで行っているそうです。



鈴木さんは小さい頃から、書道を習っていて、大きくなったら書道を仕事にしたいと考えていたそうです。

ここに30年前の創立120周年記念誌があります。その当時3年生だった鈴木さんが将来の夢を書いています。



「ぼくのしょうらいは、しゅうじの先生になって、せいとにしゅうじをたくさんおしえて、大金持ちになりたいです」と書いています。将来の夢がそのまま実現したのですね。5・6年生は鈴木さんとの時間を存分に楽しんでください。こんな素晴らしい卒業生がいることは私たちの誇りですね。